

青森県経済統計報告

平成 30 年 5 月 31 日

企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口(平成 30 年 5 月 1 日現在)..... 1

県人口 1,266,710 人 (対前月 183 人減少)	
自然動態	819 人減少 (出生者数 586 人、死亡者数 1,405 人)
社会動態	636 人増加 (転入者数 3,392 人、転出者数 2,756 人)

2 本県の経済動向 (平成 30 年 3 月・4 月の経済指標を中心として)

(1) 経済概況

本県経済は、緩やかに回復している。

(2) 主要経済指標の動向

- (2-1) 生産動向 ・平成 30 年 3 月の**青森県鉱工業生産指数**(平成 22 年=100)は、季節調整済指数が 108.5 で、前月比 1.1%の低下となり、2 カ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は 112.8 で、前年同月比 3.5%の上昇となり、5 カ月ぶりに前年同月を上回った。 ... 2
- (2-2) 雇用労働 ・平成 30 年 3 月の**定期給与**は 216,704 円で前年同月比 2.1%減となった。... 3
総実労働時間は 152.9 時間で前年同月比 2.7%減、**所定外労働時間**は 10.4 時間で前年同月比 13.3%減となった。
・平成 30 年 4 月の**有効求人倍率**(季節調整値)は 1.30 倍で、前月を 0.03 ポイント下回った。
- (2-3) 物 価 平成 30 年 4 月の**青森市消費者物価指数**(平成 27 年=100)は、総合指数が 101.4 となり、前月比 0.3%の下落、前年同月比 1.0%の上昇となった。... 5
また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 101.6 となり、前月と同水準、前年同月比 0.4%の上昇となった。
- (2-4) 個人消費 ・平成 30 年 4 月の**百貨店・スーパー販売額**は、全店舗ベースが 132 億円で前年同月比 1.5%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比 2.7%減となり、4 カ月連続で前年同月を下回った。... 6
・平成 30 年 4 月の軽乗用車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は 3,855 台で、前年同月比 2.6%減となり、4 カ月連続で前年同月を下回った。
・平成 30 年 4 月の**観光入込客数**は、主な観光施設が 931 千人で前年同月比 3.2%増となり、5 カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は 129 千人で前年同月比 0.6%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。
- (2-5) 建 設 ・平成 30 年 3 月の**新設住宅着工戸数**は 432 戸で、前年同月比 2.9%減となり、2 カ月ぶりに前年同月を下回った。... 7
・平成 30 年 4 月の**公共工事請負額**は 226 億 8,100 万円で前年同月比 32.0%減となり、4 カ月連続で前年同月を下回った。
- (2-6) 企業倒産 平成 30 年 4 月の**企業倒産**は、件数は 4 件で前年同月比 20.0%減となった。... 8
負債総額は 9 億 500 万円で前年同月比 25.1%減となった。

(3) 景気動向指数 C I (平成 30 年 3 月分) 9

先行指数	137.8 (前月を 6.2 ポイント上回り、2 カ月連続で上昇した)
一致指数	176.9 (前月を 9 ポイント下回り、2 カ月連続で下降した)
遅行指数	122.0 (前月を 4.3 ポイント下回り、2 カ月ぶりに下降した)

1 青森県の推計人口（平成30年5月1日現在）

【概況】

平成30年5月1日現在の本県推計人口は、1,266,710人で、前月に比べ183人の減少となった。

○自然動態

出生者数が586人、死亡者数が1,405人で、819人の減少となった。

○社会動態

転入者数が3,392人、転出者数が2,756人で、636人の増加となった。

総人口の推移

(単位：人)

	総数	男	女	対前月 増減率	増減数	自然増減数			社会 増減数	県外からの 転入者数	県外への 転出者数
						出生者数	死亡者数				
昭 45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10.1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
27.10.1	1,308,265	614,694	693,571	-	-65,074	-	-	-	-	-	-
29. 5. 1	1,282,136	602,187	679,949	-0.032%	-409	-803	624	1,427	394	3,420	3,026
29. 6. 1	1,281,461	601,833	679,628	-0.053%	-675	-752	738	1,490	77	1,366	1,289
29. 7. 1	1,280,651	601,351	679,300	-0.063%	-810	-674	643	1,317	-136	1,193	1,329
29. 8. 1	1,279,829	601,046	678,783	-0.064%	-822	-672	651	1,323	-150	1,699	1,849
29. 9. 1	1,278,997	600,700	678,297	-0.065%	-832	-742	669	1,411	-90	1,685	1,775
29.10.1	1,278,581	600,560	678,021	-0.033%	-416	-565	721	1,286	149	1,578	1,429
29.11.1	1,277,949	600,252	677,697	-0.049%	-632	-790	712	1,502	158	1,455	1,297
29.12.1	1,277,086	599,949	677,137	-0.068%	-863	-793	649	1,442	-70	974	1,044
30. 1. 1	1,276,120	599,503	676,617	-0.076%	-966	-831	674	1,505	-135	943	1,078
30. 2. 1	1,274,940	598,945	675,995	-0.092%	-1,180	-1,062	708	1,770	-118	973	1,091
30. 3. 1	1,273,573	598,360	675,213	-0.107%	-1,367	-940	626	1,566	-427	962	1,389
30. 4. 1	1,266,893	594,944	671,949	-0.525%	-6,680	-1,003	617	1,620	-5,677	3,686	9,363
30. 5. 1	1,266,710	595,090	671,620	-0.014%	-183	-819	586	1,405	636	3,392	2,756

4月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月		平20.4	21.4	22.4	23.4	24.4	25.4	26.4	27.4	28.4	29.4	30.4
自然 動態	出生者数	818	829	835	738	716	768	711	735	711	624	586
	死亡者数	1,349	1,266	1,337	1,338	1,377	1,458	1,425	1,328	1,426	1,427	1,405
	自然増減数	-531	-437	-502	-600	-661	-690	-714	-593	-715	-803	-819
社会 動態	県外からの 転入者数	4,218	4,232	4,025	3,911	3,907	4,085	3,608	3,458	3,450	3,420	3,392
	県外への 転出者数	4,354	4,297	3,830	4,230	3,705	3,323	3,364	2,931	2,948	3,026	2,756
	社会増減数	-136	-65	195	-319	202	762	244	527	502	394	636
増減数計		-667	-502	-307	-919	-459	72	-470	-66	-213	-409	-183

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年は国勢調査人口（確定値）。

※2 平成27年11月1日以降の人口は、平成27年国勢調査人口（確定値 総務省統計局 平成28年10月26日）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年が各々の前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数（出生者数－死亡者数）＋社会増減数（県外からの転入者数－県外への転出者数）

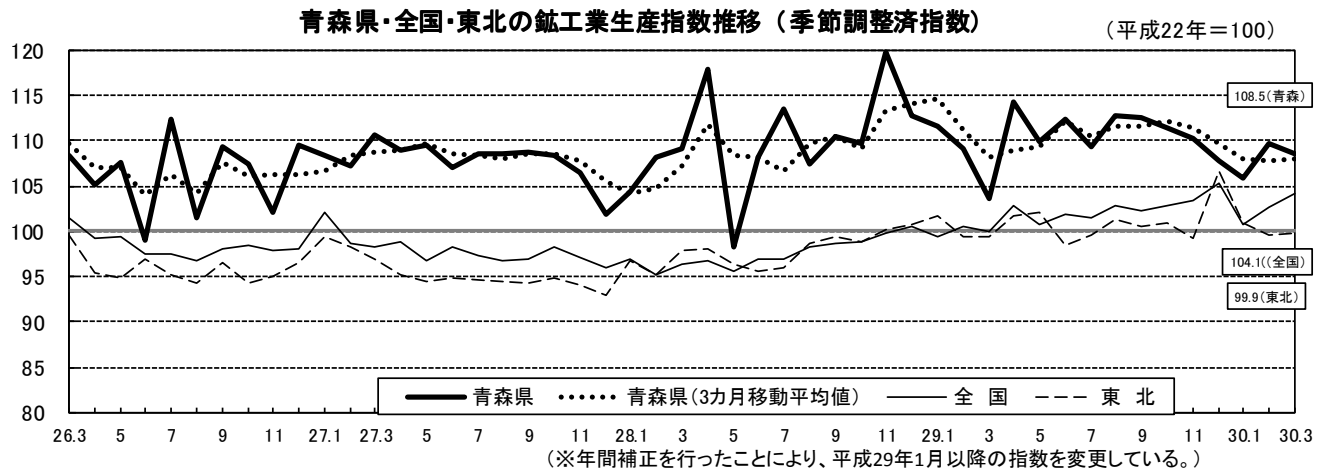
2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

(2-1) 生産動向

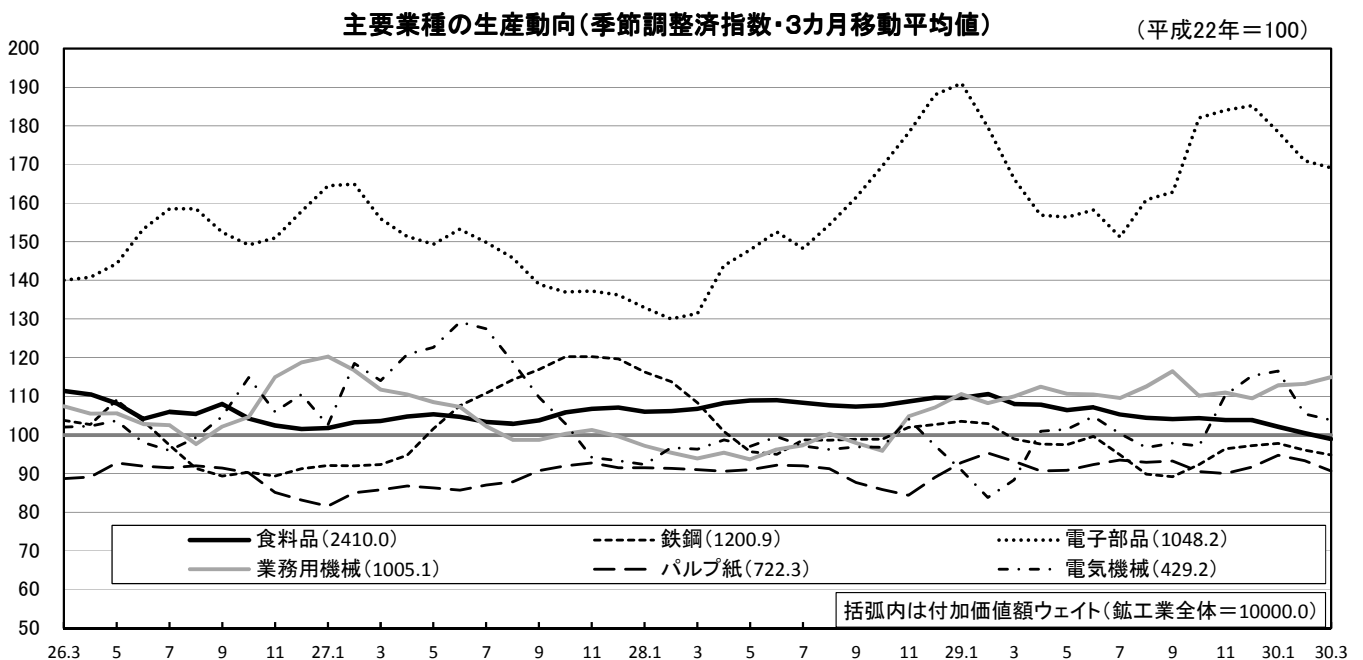
平成30年3月の青森県鉱工業生産指数(平成22年=100)は、季節調整済指数が108.5で、前月比1.1%の低下となり、2カ月ぶりに前月を下回った。また、原指数は112.8で、前年同月比3.5%の上昇となり、5カ月ぶりに前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、電気機械工業、金属製品工業、窯業・土石製品工業などが上昇に寄与した一方、生産用機械工業、業務用機械工業、化学工業などが低下し、鉱工業全体では1.1%の低下となった。



◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 -1.1%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
電気機械工業	42.1	317.6	生産用機械工業	-47.9	-333.5
金属製品工業	15.6	166.0	業務用機械工業	-6.2	-163.9
窯業・土石製品工業	20.3	143.6	化学工業	-40.6	-144.8
木材・木製品工業	131.8	103.5	輸送機械工業	-7.6	-83.8
パルプ・紙・紙加工品工業	5.8	75.5	電子部品・デバイス工業	-1.7	-65.7



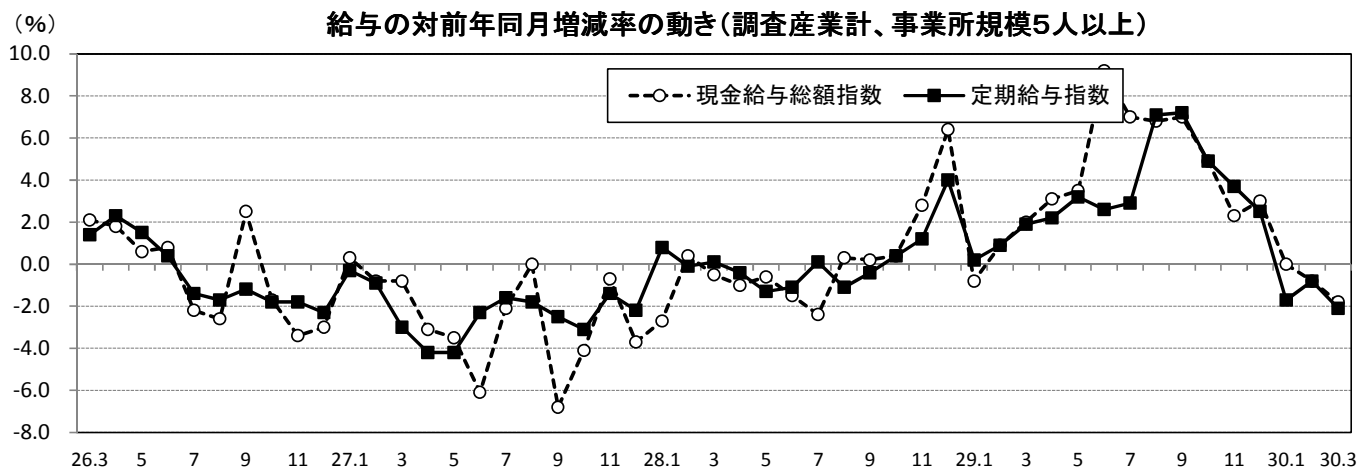
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用労働

(2-2-1) 給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）

平成30年3月の定期給与は216,704円で、定期給与指数（平成27年=100）では100.3となり、前年同月比2.1%減と3カ月連続の減（現金給与総額226,566円、現金給与総額指数90.2、前年同月比1.8%減）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は82.1となった。

総実労働時間は152.9時間で、総実労働時間指数は98.9となり、前年同月比2.7%減と2カ月連続の減となった。このうち、所定外労働時間は10.4時間で、所定外労働時間指数は90.4となり、前年同月比13.3%減と2カ月連続の減となった。



資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

給与及び労働時間の全国との比較（調査産業計、事業所規模5人以上）

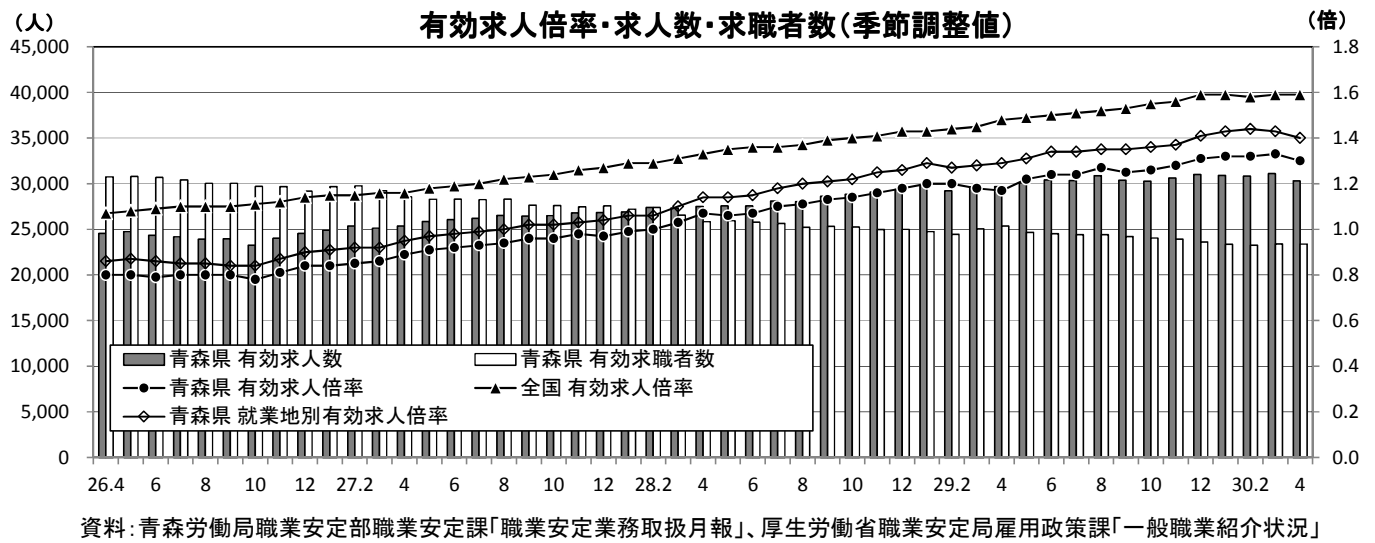
	実 数		指数(H27=100)		対前年同月増減率	
	青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国
現金給与総額	226,566 円	284,367 円	90.2	90.7	-1.8 %	2.0 %
定期給与	216,704 円	263,976 円	100.3	101.8	-2.1 %	1.2 %
特別給与	9,862 円	20,391 円	—	—	—	13.7 %
総実労働時間	152.9 時間	142.7 時間	98.9	98.8	-2.7 %	-1.3 %
所定内労働時間	142.5 時間	131.4 時間	99.6	98.4	-1.7 %	-1.5 %
所定外労働時間	10.4 時間	11.3 時間	90.4	102.7	-13.3 %	-0.9 %

- (注) 1. 「定期給与」とは、あらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与のことで、超過労働給与（所定の労働時間をこえる労働、休日労働、深夜労働に対して支給される給与）を含みます。
2. 「特別給与」とは、給与の差額追給額（ベースアップ分）、3か月をこえる期間単位で支給される住宅手当や通勤手当、賞与（ボーナス）等のことです。
3. 「所定内労働時間」とは、正規の始業時刻と終業時刻との間から休憩時間を差し引いた労働時間のことです。
4. 「所定外労働時間」とは、早出、残業、休日出勤等の労働時間のことです。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

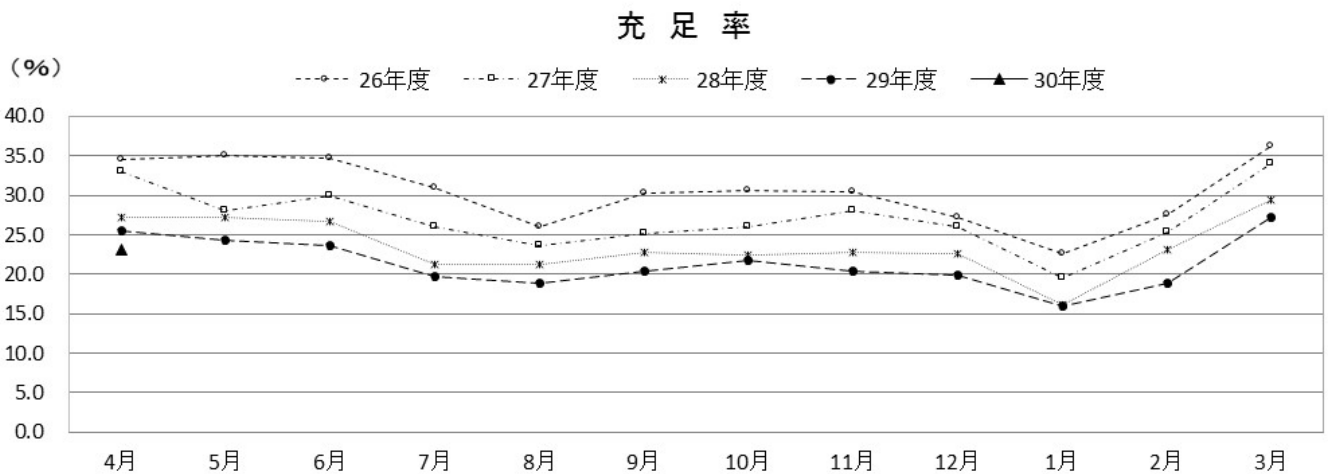
(2-2-2) 有効求人倍率

平成30年4月の有効求人倍率（季節調整値）は1.30倍で、前月を0.03ポイント下回り、7カ月ぶりに前月を下回った。就業地別有効求人倍率は1.40倍で、前月を0.03ポイント下回った。



(参考) 充足率（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

平成30年4月の充足率は23.2%で、前年同月と比べ2.3ポイント下回った。



(2-3) 物価

平成30年4月の青森市消費者物価指数（平成27年=100）は、総合指数が101.4となり、前月と比べ0.3%の下落、前年同月と比べ1.0%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は101.7となり、前月と同水準、前年同月と比べ1.2%の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は101.6となり、前月と同水準、前年同月と比べ0.4%の上昇となった。

総合指数が前月と比べ0.3%の下落となった内訳を寄与度でみると、食料（生鮮野菜など）、教養娯楽（教養娯楽用品など）などの下落が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ1.0%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道（他の光熱など）、食料（酒類など）などの上昇が要因となっている。

図1 総合指数の動き

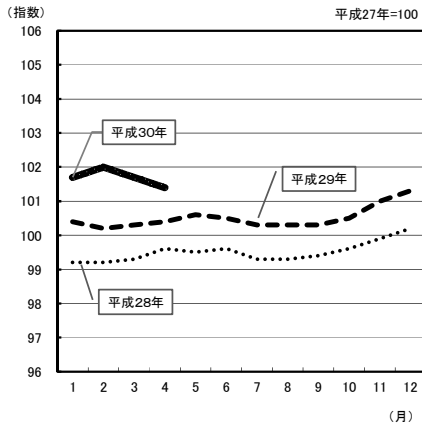


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

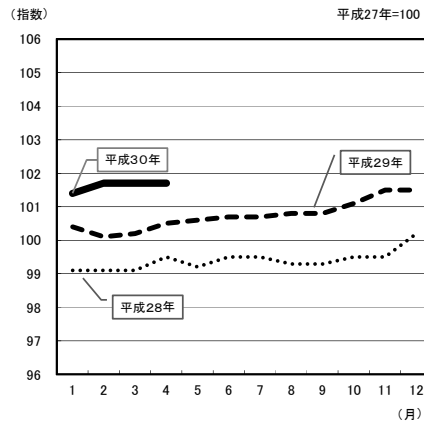
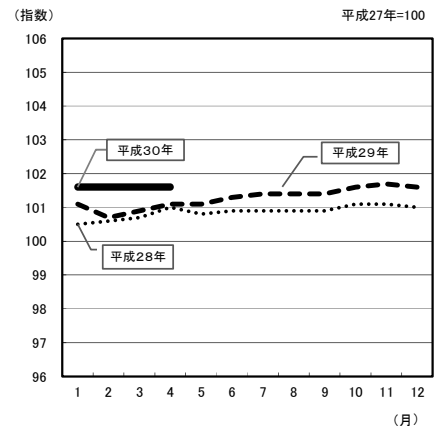


図3 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成27年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被及履	服び物	保医	健康	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
当月指数	101.4	101.7	101.6	100.6	103.6	96.7	99.8	101.2	100.7	102.6	102.5	99.1	102.8	101.2	101.9		
前月比(%)	▲ 0.3	0.0	0.0	0.2	▲ 1.2	▲ 5.2	▲ 0.1	▲ 0.1	0.6	2.6	0.5	0.0	0.2	▲ 0.2	0.1		
寄与度	—	▲ 0.01	0.02	0.11	▲ 0.34	▲ 0.25	▲ 0.02	▲ 0.01	0.02	0.08	0.02	0.00	0.01	▲ 0.02	0.01		
前年同月比(%)	1.0	1.2	0.4	0.2	0.7	▲ 2.4	▲ 0.2	5.2	▲ 0.4	0.5	2.3	1.4	0.5	▲ 0.6	0.5		
寄与度	—	1.10	0.37	0.15	0.20	▲ 0.11	▲ 0.03	0.56	▲ 0.02	0.01	0.09	0.18	0.01	▲ 0.05	0.03		

資料: 県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比(%)の値に一致する。

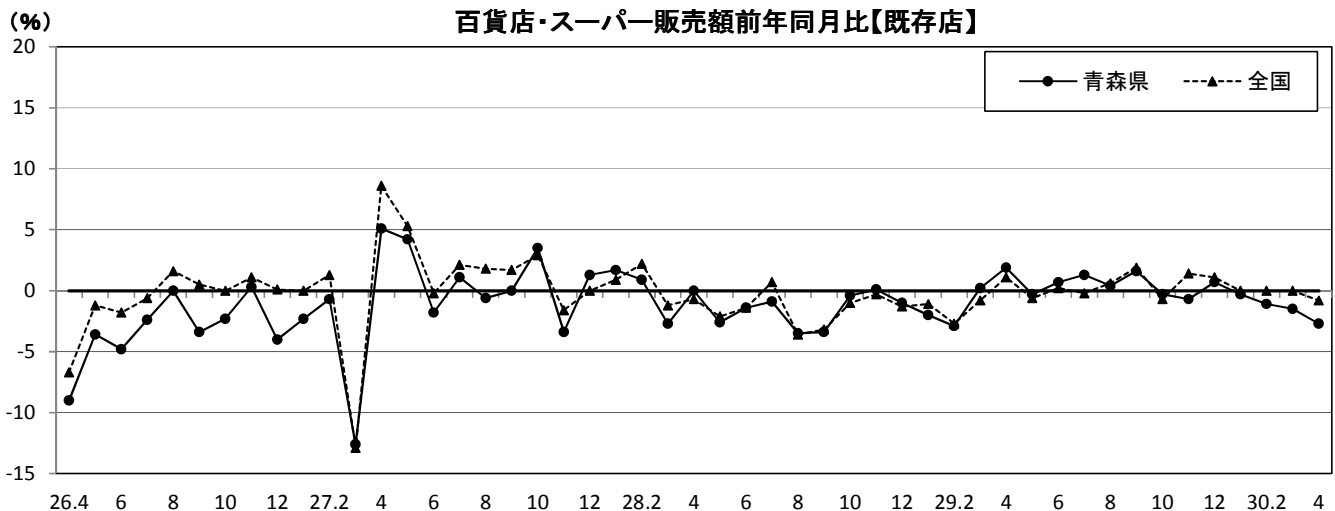
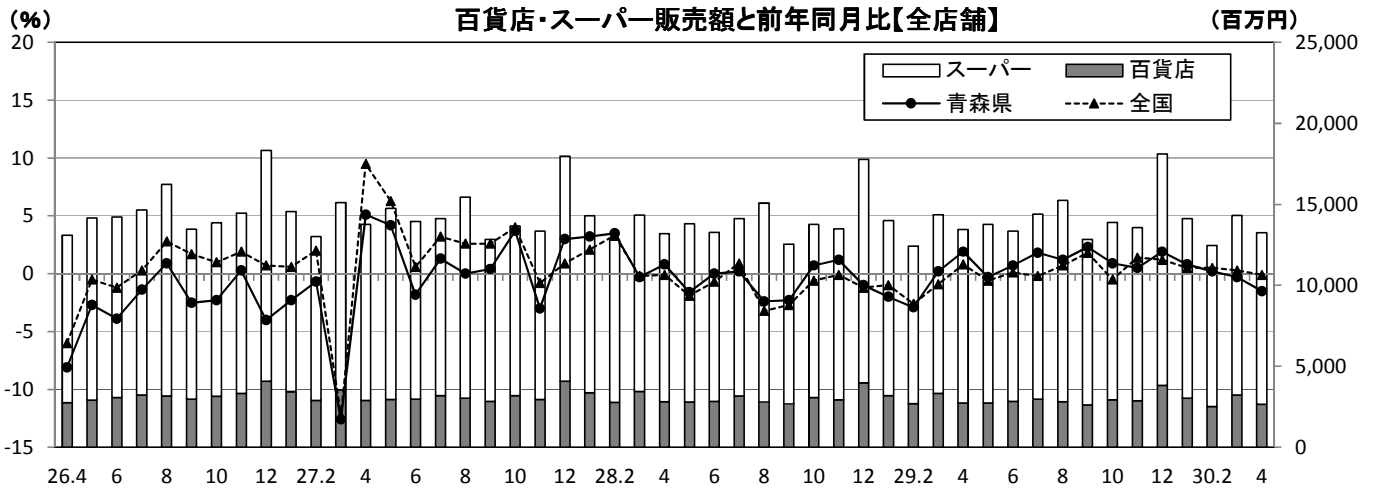
前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

(2-4) 個人消費

(2-4-1) 百貨店・スーパー販売額

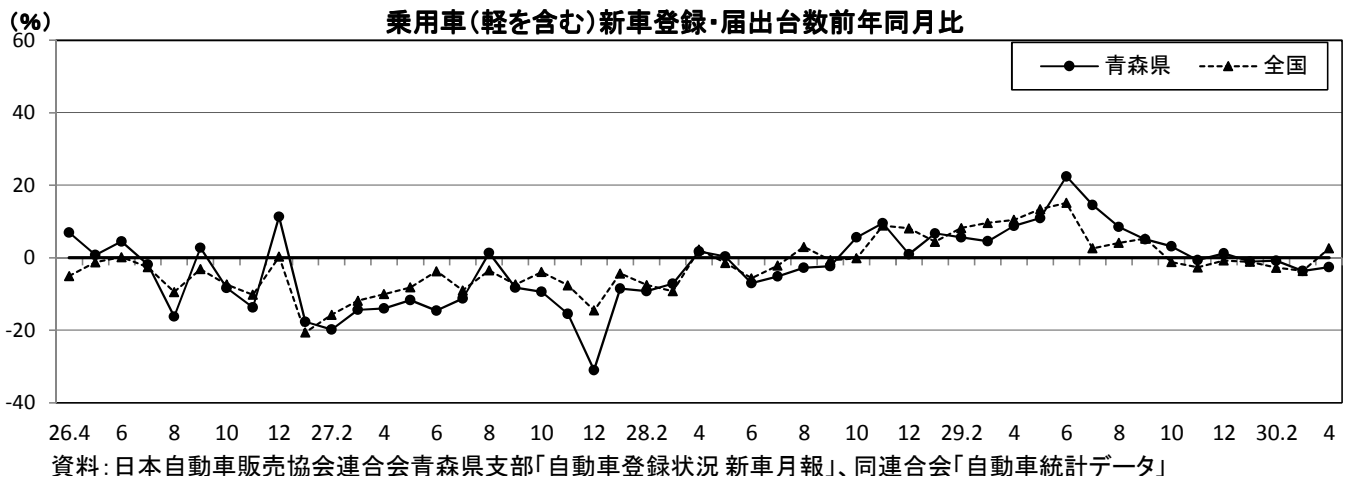
平成30年4月の百貨店・スーパー販売額は、全店舗ベースが132億円で前年同月比1.5%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比2.7%減となり、4カ月連続で前年同月を下回った。



* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

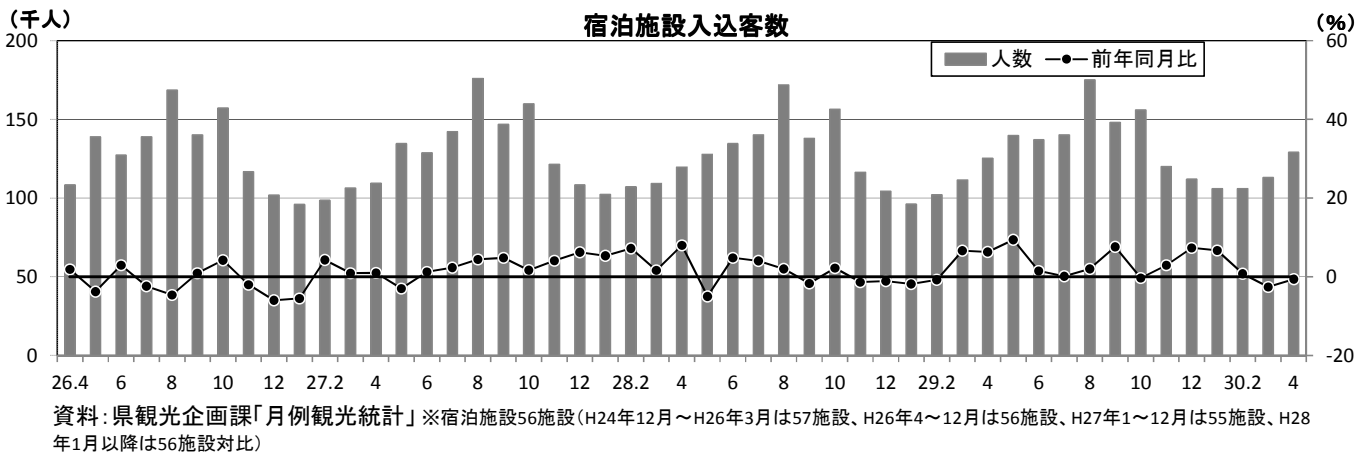
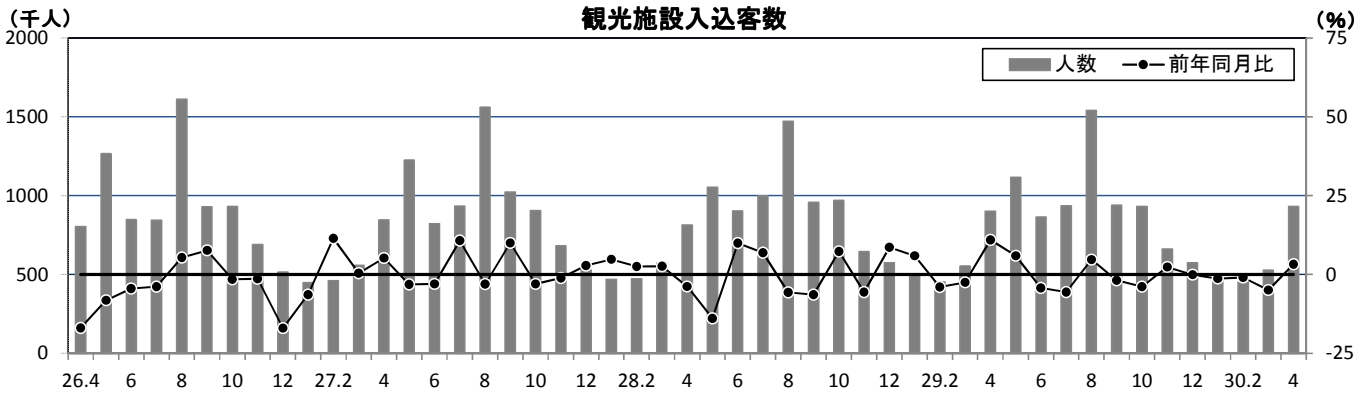
(2-4-2) 乗用車新車登録・届出台数

平成30年4月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,855台で、前年同月比2.6%減となり、4カ月連続で前年同月を下回った。普通乗用車及び小型乗用車が減少したことによる。



(2-4-3) 観光入込客数

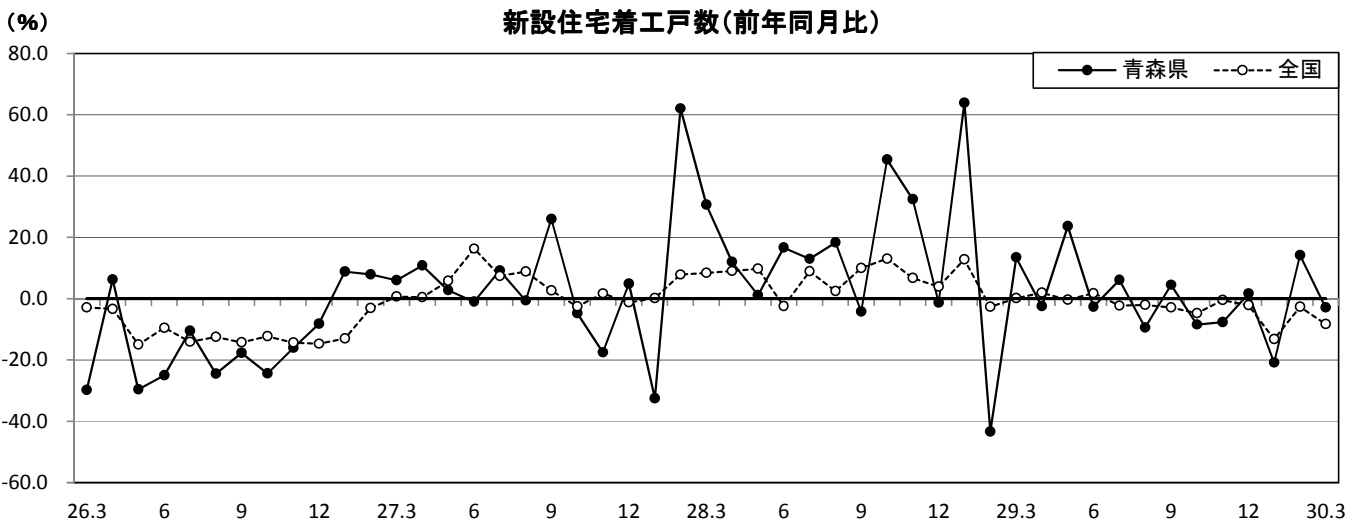
平成30年4月の観光入込客数は、主な観光施設が931千人で前年同月比3.2%増となり、5カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は129千人で前年同月比0.6%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。観光施設は青森市、弘前市、十和田市等の施設で増加し、宿泊施設は八戸市、むつ市の施設で減少したことによる。



(2-5) 建設

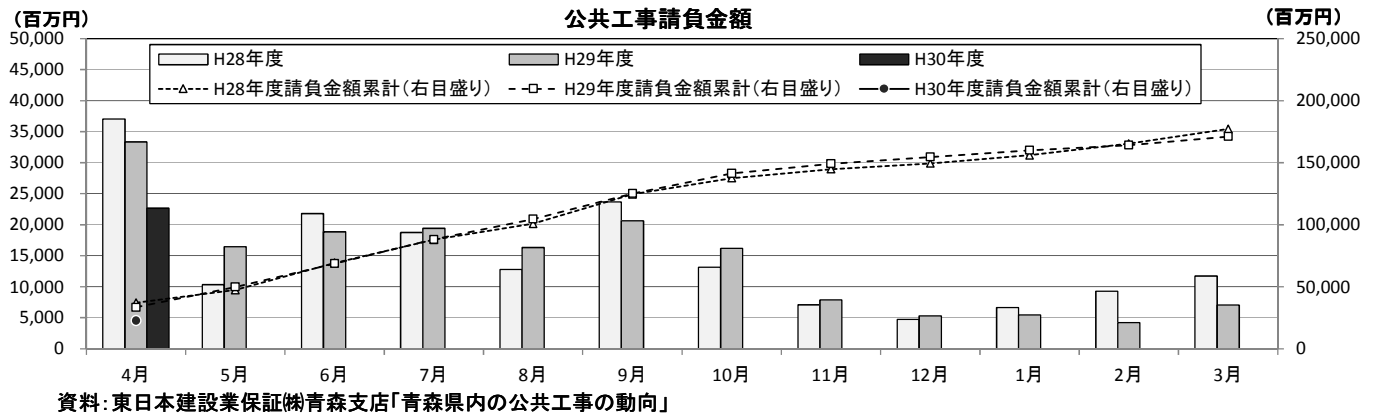
(2-5-1) 住宅建設

平成30年3月の新設住宅着工戸数は432戸で前年同月比2.9%減となり、2カ月ぶりに前年同月を下回った。持家、貸家住宅が減少したことによる。



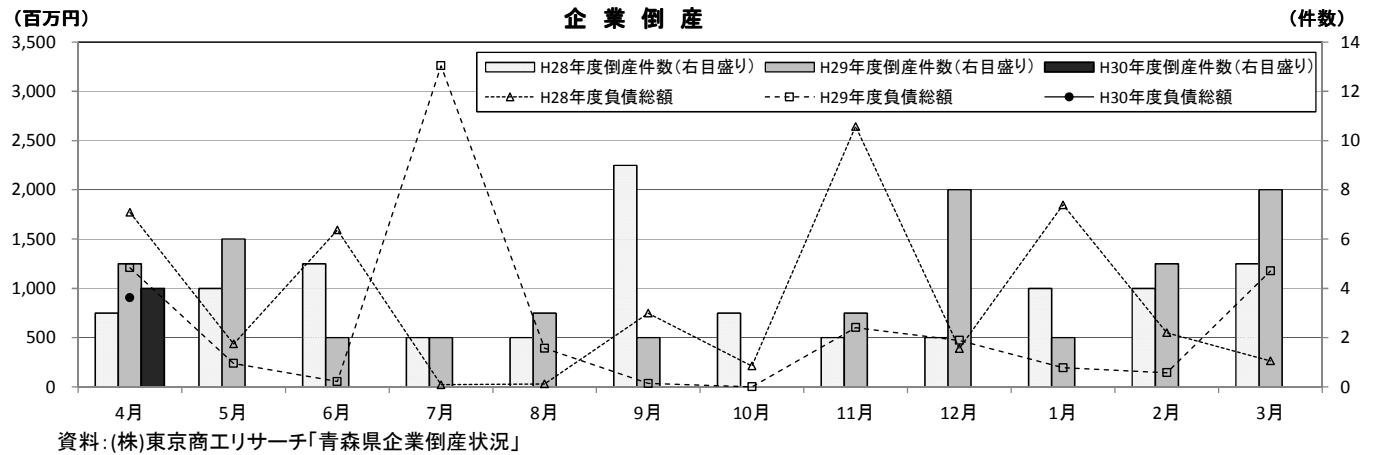
(2-5-2) 公共事業

平成30年4月の公共工事請負金額は226億8,100万円で前年同月比32.0%減となり、県、市町村などの減少により4カ月連続で前年同月を下回った。



(2-6) 企業倒産

平成30年4月の企業倒産は、件数は4件で前年同月比20.0%減となった。負債総額は9億500万円で前年同月比25.1%減となった。負債総額の前年同月比は、10億円を超える大型倒産がなく減少した。



(3) 青森県景気動向指数

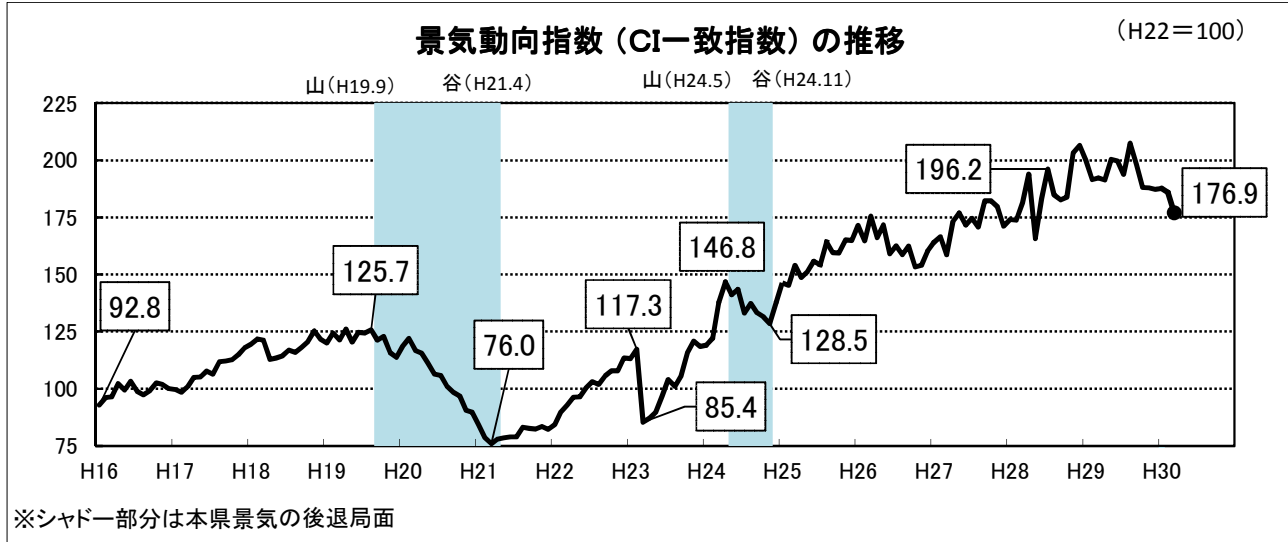
平成30年3月の青森県景気動向指数（C I）は、先行指数 137.8、一致指数 176.9、遅行指数 122.0 となった。

先行指数は、前月を 6.2 ポイント上回り、2 カ月連続で上昇した。

一致指数は、前月を 9 ポイント下回り、2 カ月連続で下降した。

遅行指数は、前月を 4.3 ポイント下回り、2 カ月ぶりに下降した。

3 月の一致指数は全ての指標がマイナスになったことから下降した。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています）

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
先行系列					
建築着工床面積	6.19	4カ月ぶり	新設住宅着工床面積	-1.15	2カ月ぶり
企業倒産件数（逆サイクル）	3.83	2カ月ぶり	日経商品指数（42種）	-1.09	2カ月ぶり
生産財生産指数	1.25	2カ月連続	中小企業景況DI	-1.06	5カ月ぶり
			乗用車新車登録届出数	-0.86	2カ月ぶり
			新規求人倍率（全数）	-0.79	2カ月ぶり
一致系列					
			輸入通関実績（八戸港）	-3.09	5カ月ぶり
			旅行取扱高	-2.26	3カ月ぶり
			所定外労働時間指数（全産業）	-1.83	6カ月連続
			投資財生産指数	-0.62	3カ月ぶり
			鉱工業生産指数	-0.61	2カ月ぶり
			有効求人倍率（全数）	-0.31	3カ月連続
			百貨店・スーパー販売額（既存店）	-0.27	3カ月連続
遅行系列					
りんご消費地市場価格	0.90	3カ月連続	県内金融機関貸出残高	-2.72	2カ月連続
公共工事請負金額	0.59	3カ月ぶり	青森市消費者物価指数（総合）	-1.35	3カ月ぶり
			家計消費支出（勤労者世帯：実質）	-1.01	2カ月ぶり
			有効求職者数（全数）	-0.51	4カ月ぶり
			常用雇用指数（全産業）	-0.13	4カ月ぶり

(参考) 青森県景気動向指数（D I）

先行指数	62.5%	（4カ月ぶりに50%を上回った）
一致指数	28.6%	（5カ月連続で50%を下回った）
遅行指数	28.6%	（3カ月連続で50%を下回った）